

# 多賀工業会 東京支部会報

2013年8月 第16号



名 刹 の 鐘

# 第32回 (H24) 同窓の集い スナッフ写真集

総会 来賓の臼井会長挨拶



講演会 『活断層と地震の科学』



講師：宮下 由香里 博士（産総研）

懇親会1 工専の先輩方のテーブル

左から 海老原 和、幸道 貞一、佐藤 喬太郎、明石 和夫の皆さん

幸道さんは今年になってから東京支部囲碁会を始め、千葉県支部の新年会や囲碁会の他、3月の埼玉越碁会の合宿囲碁会にも参加され、そこで 86 歳を迎えられました。それから2週間後、ご自宅で「疲れたから休むよ」と横になられ、そのまま旅立たれました。御冥福をお祈り申し上げます。



懇親会2

宮下講師（左端）は宗像幹事長（九州）から挨拶を太田さん（和服）は名簿上若手の東さんと談笑



懇親会3

話題は学生時代の思い出かな、それとも・・・



懇親会4

宴のフィナーレは寮歌と校歌の斉唱



写真展

来賓の秋山支部長（栃木支部会）も鑑賞！



<b>カラー写真</b>	第 32 回同窓の集いスナップ写真集	1
<b>目次</b>	第 16 号会報目次	2
<b>案内</b>	第 33 回同窓の集いご案内	3
<b>報告</b>	第 32 回同窓の集い報告	飯塚 英一 4
	支部長ごあいさつ	支部長 上月 秀俊 5
	同窓の集い出席者名簿	5
	講演会概要 活断層と地震の科学 (講師: 宮下由香里氏) 駒場 方耀	6
	平成 24 年度東京支部会計報告	7
	平成 25 年度東京支部予算	7
<b>女子会</b>	女性幹事の誕生	小林 一 8
	東京支部から広めます	太田 悦子 8
	都度良い刺激を受けて	鈴木 葉子 8
<b>随筆</b>	我が人生を省みると	海老原 和 9
	山の思い出 田崎耕八 (32 学電) 氏を偲び	小宅 仁 10
	一睡の夢 幻のアストンマーチン	柳下 幸夫 11
	ソーシャルで食を豊かに 40 代からの起業	田中 秀樹 12
	幕末明治の会津の女性たち	羽賀 重弥 13
<b>支部めぐり</b>	関西支部の紹介	高橋 昌之 15
<b>お知らせ</b>	囲碁同好会	田中栄太郎 16
	旧制水戸高校と親善囲碁大会	高田 丈夫 16
	ゴルフ部	青野 潔 17
	山遊会	小森 廣樹 18
	写真部	三好 成實 19
	こうがく祭	三好 成實 19
	第 32 回同窓の集い写真展出展リスト	写真部 20
	平成 24 年度会費納入者、寄付者名簿	会報編集室 21~22
	東京支部組織体制	23
	東京支部会則	24
	HP 編集室より	矢野 睦男 25
	編集後記	25
<b>カラー写真</b>	平成 24 年度同窓の集い写真展 作品の中から	26
<b>協賛広告</b>	上野精養軒、ジュン・ホーム、大協印刷	表 4

**表紙の題字:** これまで創刊以来 15 年間にわたり、会員の杉山六郎 (昭 24 専舶) 氏と小澤茂 (昭 43 学子) 氏の書が使われてきました。パソコンが普及し活字の種類が豊富な今日では、題字に活字を使う手もあるであろうとの話なども出てきておりました。そのような雰囲気の中、幹事会事務局と会報編集室で 6 つの字体でどれが良いか投票したところ、有澤太楷書が多数となり、これを題字の字体に採用いたしました。(編集室・兼子)

**表紙の写真: 「名刹の鐘」** (撮影 2013 年 4 月) 撮影地: 神奈川県横浜市鶴見区総持寺  
石原裕次郎のお墓で有名な横浜市鶴見区曹洞宗大本山総持寺、全国から集まった若い雲水さんが修行の為毎日 11 時から「大梵鍾」と称する鐘突きを 18 回します。毎日入れ替わり、慣れてない為相当苦勞しているようです。鐘を突く本人は埼玉のお寺からきています。小林 渡 (昭 38 学電)

# 第 33 回多賀工業会東京支部同窓の集いご案内

1. 日 時 平成 25 年 10 月 20 日 (日) 午後 2 時半から

2. 場 所 上野精養軒 (右図参照)  
東京都台東区上野公園 4-58  
電話 03-3821-2181 (代表)

交 通 : JR 上野駅公園口下車徒歩 5 分  
: 京成線京成上野駅下車徒歩 5 分  
: 東京メトロ銀座線日比谷線 上野駅下車  
西郷隆盛像から徒歩 5 分

3. 会 費 10,000 円 (当日受付にて申し受けます)  
女子会員は 5,000 円とします。

4. 総 会 午後 2 時 30 分～午後 3 時 30 分

5. 講演会 午後 3 時 40 分～午後 5 時 00 分

演題 「iPS 細胞について  
～現状と臨床応用への展望～」

講師 高木 重人 医師  
船員保険健康管理センター  
診療検査部長 (講師略歴等は下段)

6. 懇親会 午後 5 時 10 分～7 時ごろまで

7. 写真展 総会の会場内に展示します。(一般会員の方からの出展を歓迎します。陳列の都合上  
事前に写真部連絡窓口(19 ページ参照)の三好成實まで電話又はファックスで連絡下さい。)

8. お願い 出欠のご返事は 9 月 20 日 (金) までに同封のハガキにてお願いします。

出席連絡後予定変更で欠席となる場合は、10 月 11 日 (金) までに連絡をお願いします。  
それ以降の欠席には会費のキャンセル料を頂くことになります。

また、出欠にかかわらず、お手数でも同封の振込用紙にて、年会費 2,000 円を  
お振込みくださるようお願い申し上げます。

9. お問い合わせ先

駒場 方耀 (昭 38 学機) TEL/FAX : 042-665-8387



## 講演



## iPS 細胞について ～現状と臨床応用への展望～

講師 : 高木 重人 診療検査部長

船員保険健康管理センター (横浜市保土ヶ谷区釜台町)

**講演概要 :** iPS 細胞は 2006 年に誕生した、新しい多能性幹細胞で、再生医療を実現するために重要な役割を果たすと期待されております。その発明および研究進展の立役者である京都大学山中伸弥教授が、2012 年度ノーベル医学生理学賞を受賞したことも記憶に新しいところです。

しかし、そもそも、iPS 細胞はどのように作られるのでしょうか？ iPS 細胞の何が画期的なののでしょうか？現時点で何が問題点とされているのでしょうか？そして、いつ頃、どのように医療に役立つと予測されているのでしょうか？研究は日進月歩で、新しい情報が日々飛び込んできますが、それらを整理して、一般の方にもわかりやすい内容をお話ししたいと思います。

### 講師略歴 :

1991 年 3 月 横浜市立大学医学部卒

呼吸器内科臨床医として大学病院や市中病院に 11 年間勤務。

2002 年 4 月 船員保険健康管理センター

健診、人間ドックなどの予防医学に従事。

特に予防医学の最大の課題である禁煙支援に健診の場を通じて取り組んでいます。

<専門医資格等>

内科学会総合内科専門医、呼吸器学会専門医、人間ドック健診専門医、日本禁煙学会認定専門指導者、日本医師会認定産業医等。

[紹介者 : 小林 渡 (昭 38 学電) ・ 関連記事 25 頁編集後記左側]



**参考 :** 高木 医師は  
人間ドック受診者を対象  
に下記テーマ等にて昼休  
み講話を実施中です。

- ・ 受動喫煙の健康障害
- ・ 新型インフルエンザ
- ・ 長生きの秘訣
- ・ 放射線による健康障害
- ・ PM2.5 について  
～微小粉塵による健康  
障害～ 等々

# 第32回東京支部同窓の集い

総合司会 飯塚 英一（昭46学電）

東京支部「総会」から改め「同窓の集い」となり二年目、平成24年10月13日（土）上野精養軒にて15時から19時過ぎまで開催されました。

臼井敏雄（昭40学電）多賀工業会会長はじめ、各支部より綿引千葉支部幹事長、上田埼玉支部長、岡野水戸勝田支部長、寒風澤静岡支部長、秋山栃木支部会支部長、佐藤仙台副支部長、根本中部支部長、宗像九州支部幹事長、そして小峰日立総合支部副支部長の方々を来賓にお迎えし、出席者総数81名となりました。来賓の方々には遠路ご臨席戴きましたこと、有難く御礼申し上げます。

第1部を東京支部総会、第2部を昨年のも東日本大震災の足跡が未だ残る話題として「活断層と地震の科学」と題し、（独）産業総合研究所の宮下主任研究員をお迎えしての講演会、そして第3部は会場を改めての大懇親会は旧交新交の話で盛況となりました。

以下、概要を報告致します。

## 第1部 東京支部 総会（15時～15時30分）

講演会の時間配分をより充実にと、総会の時間を従来の約70分から30分に大幅に短縮致しました。

小林 渡（昭38学電）副支部長開会の辞から発し、上月秀俊（昭36学機）支部長挨拶、本部の臼井会長より来賓挨拶と当工業会本部活動の状況を説明戴き、年度行事、同好会活動報告に続き、昨年度（平成23年度）東京支部会計報告に対する総会承認が為されました。

時間短縮にもかかわらず予定時間内に終わることが出来ましたこと、関係各位に御礼申し上げます。支部長挨拶及び出席者リストは次頁に掲載しています。

## 第2部 講演会（15時40分～17時）

『活断層と地震の科学』

講師：宮下由香里主任研究員（（独）産業総合研究所 活断層・地震研究センタ）

「地震・雷・火事・オヤジ」いつの世も怖いもの一番の地震、地球と人間の歩みの相違、関東大震災が大正12年(1923)そして一昨年の大震災まで88年。明治以前、記録のある江戸の時代前からも大地震が多くありました。今話題の”活断層”、これからの日本列島、何処にどのような規模の地震発生の確率と何処にいるのが安全か・・・、それら解説教示を多く戴きました。概要は6頁に掲載しています。

## 第3部 懇親会（17時10分～19時）

地下講演会場から二階宴会場へ移動、藤枝伸一（昭45学子）幹事の司会一声でスタート。三本木 武（昭30学金）顧問の乾杯音頭の後、支部来賓の挨拶を戴き、旧交を温め新交を深めて大いに語り合うことができました。

終盤は橋 弘（昭38学電）氏のクラリネットに乗せて校歌・寮歌を歌い、最長齢の朽本二郎（昭19専原）氏の手旗による激励を戴きました。

## 写真展

写真同好会による写真展が総会会場の壁面を使って行なわれました。各種写真展での受賞作品もあり、多くの参加者から、そのレベルの高さが賞賛されました。出展リストは20頁に掲載しています。

## ご案内

1頁（表表紙裏）：同窓の集いスナップ写真集  
26頁（裏表紙裏）：写真展に出展された作品の中から8点を掲載しています。  
最近では珍しくなったモノクロフィルム版が2点ありました。下記写真はその内の1点です。  
異形の街（東京・原宿） 三好成實（昭39学機）



支部長年度行事等報告

# 支部長ごあいさつ

支部長 上月 秀俊 (昭36学機)

本日第32回東京支部“同窓の集い”開催にあたり本部臼井会長をはじめとして、9支部の支部長・役員並びに東京支部会員約75名の方々にご参集戴きました。大変お忙しいお休みの所遠路はるばるお出掛け頂きますして、有難く大変嬉しく思っております。



昨年は東日本大震災に見舞われショックを受けました中で、6月に本部と合同で“同窓の集い”が比較的暗いムードで開催されました。その様な中で母校復興支援募金を初めは東京支部で集めましたが、その後工学部長が先頭に立ち、多賀工業会が支援する形で募金活動が展開されました。その結果東京支部圏内では約500名近いの方々にご支援を戴き強い絆を感じました。

この絆を私共は如何に繋いで行くかが今後の課題で、母校と同窓生を継続的に繋いで行くべ

き活動を考えたいと思います。

今月、日比谷公会堂で開催された全国老人クラブ50周年記念式典に、出席されました天皇陛下のお言葉が新聞に記載されていましたが、“我々は青年時代に経験した事を、直に子供や若い人達へ伝えて行く事が、我が国にとっては大切である”とありました。

我々OBが繋げて行く事は何かを考えると、昨年・今年と本部会報に“キャリア教育講座講師登録お願い”が出ておりますが、このキャリア教育講座の実現がなかなか出来ておりません。我々卒業生と母校の在校生や若い卒業生とを繋ぐ1つとして、このキャリア教育講座開催を実現し、継続的に推進する事が重要な使命ではないかと感じ、皆様方と一諸に力を合わせ推進したいと思っております。

更にこの様な“同窓の集い”が皆様に親しまれ、多くの方々にご参加戴ける様に努力を重ねて行こうと思っております。本日ご参集の皆様方には、1人でも多くの友人を“同窓の集い”や同好会にご参加戴けます様お誘い戴き、更なる支部活動活性化へ繋げるご協力をお願い致します。

最後になりましたが、多賀工業会並びに各支部の益々のご発展と皆様方のご健勝・ご多幸を心より祈念申し上げます。

\*\*\*\*\*

## 同窓の集い出席者名簿

### <来賓> 11名 (敬称略)

臼井 敏雄 多賀工業会 会長 (昭40学電)  
綿引 貞男 千葉県支部 幹事長 (昭38学電)  
上田 正雄 埼玉支部 支部長 (昭37学電)  
岡野 博親 水戸勝田支部 支部長 (昭33学電)

寒風澤 武 静岡支部 支部長 (昭41学機)  
秋山 光庸 栃木支部会 支部長 (昭34学原)  
佐藤 兼昭 仙台支部 副支部長 (昭38学機)  
根本 弘 中部支部 支部長 (昭38学金)  
宗像 智次 九州支部 幹事長 (昭39学機)  
小峰 久志 日立総合支部 副支部長 (昭31学機)  
宮下由香里 講演会講師 (産業総合研究所)

### <会員> 71名 (敬称略)

阿部 徳治 (昭37学化)	海老原 雄二 (昭38学金)	山田 恵規 (昭42学電)
朽本 二郎 (昭19専原)	大塚 進 (昭38学化)	小澤 茂 (昭43学子)
柳田 裕美 (昭19専精)	小田倉 勝夫 (昭38学化)	堀口 正治 (昭44学子)
田島 廣一 (昭20専精)	小池 利彦 (昭38学化)	藤枝 伸一 (昭45学子)
佐藤 喬太郎 (昭22専機)	白石 道彦 (昭38学化)	飯塚 英一 (昭46学電)
明石 和夫 (昭22専金)	高木 二郎 (昭38学化)	安田 健博 (昭46学子)
故 幸道 貞一 (昭22専通)	矢部 功一 (昭38学化)	西岡 周二 (昭47学機)
海老原 和 (昭24専通)	磯部 亮 (昭38学精)	五十嵐 喜良 (昭47学子)
菊地 玲二 (昭26専通)	矢嶋 國男 (昭38学精)	加藤 邦治 (昭54学子)
玉川 信二 (昭28学電)	三好 成實 (昭39学機)	松田 重俊 (昭55学子)
鈴木 日出男 (昭30学原)	原 俊彦 (昭39学電)	小澤 喜宏 (昭53学子)
三本木 武 (昭30学金)	松本 二郎 (昭40学金)	西部 俊憲 (昭53学情)
山崎 慎一郎 (昭31学原)	田中 栄太郎 (昭40学化)	長 正彦 (昭55学機)
榊原 康夫 (昭32学原)	大泉 雅靖 (昭40学精)	丸島 國義 (昭55院電)
上月 秀俊 (昭36学機)	寺 紘一 (昭40学精)	竹井 日出夫 (昭55院子)
坪 弘 (昭37学機)	青野 潔 (昭41学化)	太田 悦子 (昭60学電)
服部 則男 (昭37学機)	小沼 淳志 (昭41学化)	二川 克美 (昭63院情)
高田 勲 (昭37学機)	森田 徹郎 (昭42学電)	東 學 (平8院生)

# 活断層と地震の科学

講師：宮下 由香里 氏

独立行政法人 産業技術総合  
研究所

活断層・地震研究センター  
活断層評価研究チーム

主任研究員、理学博士

専門研究分野：地質学、  
古地震学、活断層の活動履歴  
の解明と活動評価手法の開発



これまでに調査した活断層：関谷断層（栃木  
県）、牛首断層帯（富山・岐阜県）、立川断層帯  
（東京都）、警固断層帯（福岡県）、岩国断層帯  
（山口県）

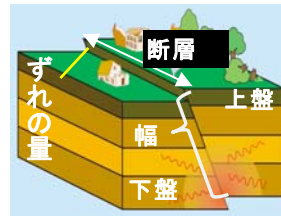
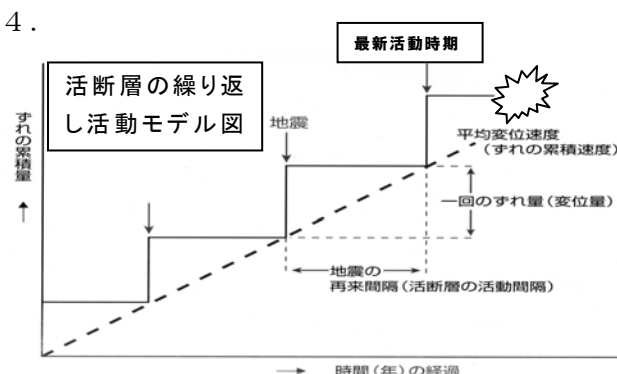
始めに： 副支部長 駒場 方耀(昭 38 学機)

演題の副題が「過去を知って未来を予測する」  
地震予測手法をわかり易く解説いただきました。

立川断層帯の調査結果を中心にデータと解説が  
下記の手順で行われました。

## 講演概要：

1. 日本列島を取り巻く地震帯  
全地球発生地震の 1 割は日本列島付近で発生する。  
地震の種類とは（海溝型、スラブ型、内陸直下型）。地震発生メカニズム。
2. 関東は地震の巣、活断層が多くある（20 から 40 km ごとに 1 個）。  
3.11 以降、関東各地の活断層で 30 年以内の地震発生確率が約 2 倍高くなった。  
立川断層は「ほとんどずれない」から「0.6% ~ 2%」。2%とは「交通事故に遭遇するであろう確率である」。
3. 活断層とは「過去に地震活動をおこした痕跡がある断層であり、将来も動く可能性がある断層」のこと。トレンチ（溝を掘りその壁面の）調査をして「過去の地震の時期、位置、規模を復元し、次に起こる地震の時期、位置、規模を予測する」のが目標。



- ・断層の位置・長さ
- ・最新活動時期
- ・平均変位速度
- ・一回の地震の際のずれの量
- ・地震の再来間隔

5. 過去の地震を知るには「地質」しかない。地震計発明から 100 年、古文書も多くは江戸時代（400 年前）が多い。「地質調査」（トレンチ調査）では数万年間の地層の移動が評価対象となる。
6. 立川断層帯（立川市、青梅市、名栗村の 33 km）のトレンチ調査結果の評価  
2000年 東京都実施：最新活動期間は 1000 年前から 2000 年前、活動間隔は 5000 年のため、30 年発生確率で 0%。  
2003年 国（地震調査研究推進本部）実施：最新活動期間は 2 万年から 1.3 万年前、活動期間は 1 万年から 1.5 万年。30 年発生確率は 0.5% から 2%。  
産総研の調査（箱根ヶ崎複数トレンチ調査）：最新活動期間は 7500 年前から 1.3 万年前。評価は国の判定に近い。
7. 立川断層が地震を起こした場合；M=7.4（阪神大震災より大きい）、断層の東の崖が 2 から 3m 隆起すると予想される。いつ起こるかは不明。
8. 立川断層は古地質調査の用地（トレンチ、ボーリング）が確保できれば調査点数を増やし、最新活動期間、地震の繰り返し周期、ずれ量（縦横比）を明らかに出来るので長期予測精度は向上する。ただし、都会での調査地点の確保は現実には難しい。  
5 項での断層調査結果の評価相違は「新しい断層活動」が「ない」とするか、「痕跡を見落としている」かで評価を分けた。



プロジェクターを使って講演中

## 結び：

会場から講演に関連した質問が 10 件あり、20 分間の回答を通して、「地震予知」に関する参加会員の関心が高いことが証明されました。

## 平成24年度多賀工業会東京支部会計報告

平成24年4月1日～平成25年3月31日 (単位：円)

収入の部	24年度予算	実績	予算比	摘要
年会費	601,600	578,000	-23,600	189名289口 (320名目標)
本部援助金	210,000	208,000	-2,000	毎年3%減
同窓の集い会費	1,000,000	805,000	-195,000	¥10,000×100名目標で結果81名
広告料	45,000	60,000	15,000	3件目標(プラス前年度未払いの振込)
寄付・利息	-	76,158	76,158	
収入の部計	1,974,500	1,727,158	-247,342	
前年度繰越金	1,128,197	1,128,197	0	
合計	3,102,697	2,855,355	-247,342	
<b>支出の部</b>				
同窓の集い会費	960,000	686,365	-273,635	
総会場・懇親会費		629,740		
その他諸費用		56,625		
会報費	600,000	490,935	-109,065	
会報諸印刷費		686,365		1,300部発行
会報配送費		100,240		
編集雑費		43,775		
会議費	100,000	53,986	-46,014	定例幹事会4回
交通費	180,000	110,940	-69,060	10支部総会
本部・支部総会参加交通費		70,620		
一般交通費		40,320		
交流費	300,000	242,781	-57,219	
本部・支部総会参加会費		110,112		本部・10支部総会参加
同好会援助		100,000		4同好会+女子会援助費
雑費		32,669		
振込み費		16,640		
支出の部計	2,140,000	1,601,647	-538,353	
繰越金	962,697	1,253,708		三菱UFJ銀行¥1,037,098 郵貯銀行¥108,264 現金¥108,346
合計	3,102,697	2,855,355		

以上の通り報告致します。

平成25年4月6日

監査の結果上記に相違ないことを認めます。

平成25年4月6日

会計幹事

森田 徹郎 ㊞

監事

田中 栄太郎 ㊞

監事

高木 二郎 ㊞

## 平成25年度多賀工業会東京支部予算

平成25年4月1日～平成26年3月31日 (単位：円)

収入の部	25年度予算	前年実績比	摘要
年会費	601,600	23,600	年会費(2,000-120)×320名目標
本部援助金	202,000	-6,000	毎年3%減
同窓の集い会費	1,000,000	195,000	会費10,000×100名目標
広告料	45,000	-15,000	3件目標
寄付・利息	-	-76,158	
収入の部計	1,848,600	121,442	
前年度繰越金	1,253,708	125,511	
合計	3,102,308	246,953	
<b>支出の部</b>			
同窓の集い会費	900,000	213,635	
会報費	600,000	109,065	A4版28頁；1,300部印刷
会議費	100,000	46,014	
交通費	180,000	69,060	10支部総会へ参加
交流費	300,000	57,219	全上・4同好会援助費+女子会援助費
振り込み費	38,400	21,760	
支出の部計	2,118,400	516,753	
次年度への繰越金	983,908	-269,800	
合計	3,102,308	246,953	

# 女性幹事の誕生

幹事長 小林 一 (昭38学機)

今から3年前の平成22年に多賀工業会東京支部は創立30年を迎えました。支部活動の更なる発展の為に、記念となる新しい施策をやるとうことになり、幹事会にて今後益々増加が見込まれる女性会員の支部活動への参加を進めようと決議し、準備を進めました。

幸い、数名の女性会員の賛同を頂き、10月には女子会がスタートしました。その後仕事と家庭を守りながら、一步一步仲間との交流を深めてきました。

また、支部や工学部の行事等にも参加していただきましたが、やはり女性会員だけの活動には限界もあり、これからは何人かの方に幹事会のメンバーになっていただき、支部全体の活動を理解して頂くとともに、女性の目線からの新鮮な提言をいただき支部活動の活性化につないでいきたいと期待しております。

そこで幹事に就任された太田悦子さんと鈴木葉子さんにその抱負等を語っていただきました。

## 東京支部から広めます

太田 (旧姓野原) 悦子 (昭60学電)

私たちは、3年前に知り合いましたが、現在1年に数回のランチ会を中心に親睦を深めております。現在の役員は以下のメンバーです。

会長：太田悦子 (60学電)

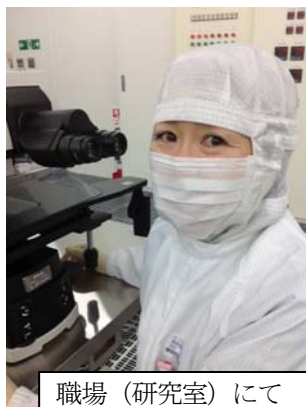
副会長：鈴木葉子 (62学化)

日立地区連絡担当：

高野たい子 (53学情)

日立地区担当補佐：

福田光子 (62学情)



職場 (研究室) にて

今回はこの会に私が参加していくようになった経緯をお伝えさせていただきます。女子会なんて面倒とお考えの女子同窓生にもちょっとお読みいただければと存じます。

実は当初は、どうして女子会が必要なのか私自身も理解できませんでした。多賀工業会の同窓会でさえ参加したことがなかった私ですので、女子卒業生の会を立ち上げると伺ったときは、魅力を感じませんでした。ただ、自身の長女が遠方大学の理系学部に進学したことで、女子会を通じ女子学生や後輩卒業生に何かお手伝いができたらとの想いになりました。又、設立にご尽力くださった東京支部旧幹事の小澤さんの名簿整理から始まった同窓生への地道なお声かけの熱意にも背中を押されました。

このように、お手伝いをするつもりで参加する事となった女子会でしたが、参加して知り合ったメンバー皆さんの個性豊かで素敵なおこと!! すっかり、女子会でお会いする事が楽しみとなりました。「人に会う」その事が女子会の魅

力になっていると気づいたのです。参加していただかないとお伝えできない「女子会って必要?」の答えのひとつではないでしょうか? 他では得られない、工学部卒業生同士ならではの共感をぜひ体験してください。

昨年は女子会として、工学部主催の学園祭「こうがく祭」にも6名で参加致しました。現役女子学生との初めての懇談もでき、新たな同窓会の可能性を示せたと思います。

女子会参加者はまだ東京支部中心ですが、神奈川県、茨城県からの参加者もいらっしゃいます。今後はさらに地域によらずご参加して頂けたら、と考えております。ご参加は、ご都合のつく時だけでももちろんOKです。皆さんは多忙なこともあり、さまざまな理由での直前のキャンセルもあります。たとえ当日朝の不参加になってもどうぞご心配なく。開催日も開催場所も多数決、無理なく、義務なく、長くゆるいお付き合いが目標です。メール登録いただき、一步を踏み出しませんか?

現在、メーリングリストの整備や東京支部HPからの新しいお知らせ方法などを検討しております。まもなく皆様へのお知らせが迅速にできるようになると思いますが、現在は、女子会の詳細、ご意見は、こちらのアドレスへお問い合わせ下さい。 [denki.nohara@gmail.com](mailto:denki.nohara@gmail.com) 卒業したばかりの方から大先輩まで、地域、学年を超えた皆様からのコンタクトをお待ちしております。私たちは、姉妹のような、お母さんと娘のような、暖かなつながりでありたいと思います。工学部卒の女性にとっての新しいちょっとした居場所を、一緒に作っていきましょう。

## 都度良い刺激を受けて

鈴木 (旧姓西村) 葉子 (昭62学化)

女子会では同じ工学部出身ということで、お互い共感でき、毎回良い刺激を受けております。皆さん、家庭を大事にしなが、自分の仕事や生きがいも楽しんでいらっしゃいます。私も、外へ出ていろいろな方々と交流するのは大切だと感じるようになりました。



昨年のこの会報15号には「仕事・家庭のバランス」という題で大学時代から米国での生活に至るまでのあれこれをご披露させていただきました。

それがきっかけで今回は会報編集室の一員としての役割を頂きました。

昨年の会報編集後記の末尾に記述された“会報編集担当委員として活躍された大原節さん (昭38学機) が四国への転居の為に会報編集室を辞されてから、10年間女性編集担当委員が不在だが、会報編集室や幹事会に女子会員を迎え入れられる日は何時のことか”に答える形になりました。東京支部の活動も貴重な経験と思い、微力ながら、お役に立てるよう務めさせていただきます。よろしく願い致します。

# 我が人生を省みると

海老原 和 (昭24 専通)



人生の苦難は容赦なくやってきます。これら乗り越えてゆくのが一生なのかも知れません。戦後で適職がなく何かにすがりつく思いで居る時に路頭の電柱広告・「電気に興味ある人来たれ」・に一生の職にありつけるとは・・・。

先ず昭和20年(1945年)7月、吼洋寮に入寮したばかりの2~3日後の夜、豪雨をついて米軍艦砲射撃に見舞われました。一生忘れられません。犠牲にられました早川校長と寮生10名のご冥福をお祈りいたします。

この1945年10月に腸チフスに罹って日立市立病院に4ヶ月の入院となりました。当時当地では流行していたそうでした。この苦難で留年となりました。

昭和24年卒業後適職が無く、少しのツテを頼りに千住の製鉄会社の保守要員となりました。又新聞広告により夜間中野高等無線校のアルバイト教師となり、格好は付き始めました。

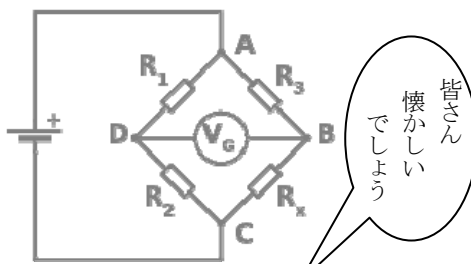
書頭の電柱広告の企業は京成線のお花茶屋駅から歩いて10分位の所に有りました。当日お会いした企業の二人より、「都合の良い日から来るように」との一言で決まりました。当日面談した二人は40歳位の東芝出身者で、国家試験技術者一級取得の「丹後」「増井」の優れたエンジニアでした。家屋は古びた軍需工場跡地の一角を借りたものでした。

約一週間後に60歳位の品の良い老人が来て、会社名と企業方針が決まりました。その人は京大電気科卒で宮内庁電気課課長職経験者の乙葉眞一さんでした。社名も教育勸語より「済美電気(株)」となりました。また当時電力事情が悪かったので、「電圧安定化機器」の開発製造とはっきりとした製造目標を掲げました。

戦後7~8年は停電が多く、又電圧も10V位は良く変動しておりました。

先ずこの電圧変動を抑え又補うものを探さなければなりませんでしたが、それにはスライダック方式と変圧器方式がありました。当時、50KVA~100KVA容量のこれらの先発製造メーカーはスライダック方式(摺動型)は原口工業1社で変圧器方式(誘導型)は整電社、小林電機の2社でした。

摺動型は摺動ブラシの破損が多く、2年位で止め、誘導型A



対面の積  $R_1R_x=R_2R_3$  なら  $V_G=0$

VRの自動化を考えたものでした。この自動化は一次変化電圧分を検出し、モーターで電圧変化の反対方向にローターを廻して元の電圧位置にすることでした。この電圧変化の検出にはホイートストブリッジ回路を応用しました。バランスが取れている時は中性線に電流が流れませんがバランスが崩れると電流が流れます。中性線に電流が流れる方向を利用して検出器としました。この誘導型AVRは計算機電源としてIBM等へ50~60台納入しましたが、電力事情が良くなると同時に需要がなくなりました。

昭和29年(1954年)秋、この企業での徹夜作業の連続で疲労がたたり肋膜炎に罹ってしまいました。幸にも下宿先の長男が千葉医大のインターン生だった為寝台車を配車して頂きました。6ヶ月の入院となりましたが、その間会社は下北沢に移転しました。(この頃初めて健康保険で助けられた思いがあります。)よく持ち堪えたと思っております。

昭和35年(1960年)頃にはNTT、郵政省も新庁舎の建築が多くなりました。庁舎では電気時計、インターホン、出退表示機、火災報知機の用途の為直流24Vの無停電化が必要となりました。

蓄電池を搭載していますので自動浮動充電器を開発しました。今では珍しくありませんが、SCR磁気増幅器、可飽和リアクトル等の組合せで完璧なものとなりました。この24V系のものは全国約150局舎に納入させて頂きました。母校の近くでは日立郵便局、常陸太田局、勝田局はこの24V系タイプです。

その後高度経済発展期に入り、人権を尊重する気風となり、「特定多数の人員が入り出す建築物には30分以上運用出来る非常電源を具備しなければならない」と消防法が大幅に改善されました。

その為DC100V用の自動浮動充電器を製作し消防庁の検定を受けて合格し、消防庁の準拠品となりました。又内部にはDC/DCコンバーターで24Vも供給可能にして、九州から北海道まで約100局に納入しました。

お陰で青函連絡船、宇高連絡船をも経験しましたし、鹿児島では雨の降らない日に傘をさしている珍しい光景にも納得しました。網走の流水、札幌の雪まつり、新潟のオケサ踊り祭り、又皆生温泉の混浴なども経験しました。

製造品目の売れ行きが低下し始めた頃平成10年(1998年)、別のグループの映像技術の開発に従事するようになり、映像技術部門で指紋照合分析を4~5年かけて製品化しましたが販路には乗りませんでした。この4~5年前、常務取締役営業部長の肩書は失っていました。当然退社することとなり、平成13年(2001年)75歳で身を引きましたが、会社はこの年の秋、破産整理となりました。

人生努力は報われるべきですが、往々にして「塞翁が馬」。応援していただいた先輩・学友に感謝しお陰で家族も健康でしたので、有難い一生と思っています。

86歳の今、丹沢の裾野を歩き、鎌倉を散策し、横浜の港の見える丘を散策しております。

若い学友達の幸福と健康を祈りつつ、拙文をお詫びいたします。

# 山の思い出

## 田崎耕八(32 学電)氏を偲び

小宅 仁(昭 36 学電)

幹事会の席上で、山遊会発足の話が持ち上がった時が、初めての先輩との出会いでした。

山歩きを楽しむ会を立ち上げようとの雰囲気の中で、にこやかな笑顔で積極的なご意見を述べられておりました。

山遊会会長を田崎先輩に依頼したが強く固辞され、結果小生にお鉢が回ってきてしまいました。顧問という形で参加されることになりました。

当初、プランニングは田崎先輩と桜井衛(昭 38 学機)さんが行い、丹沢山塊を桜井さん、その他は田崎先輩、たまに小生を含めた仲間が提案する体制ができ沢山の山歩きが進められました。

当初、山行は必ず調査登山を行い、十分な安全確認をして仲間を誘導することにしました。先輩の計画は緻密で、その事前調査による安全管理はもとより、その山に纏わる物語などの調査も行い、その説明は仲間を大いに楽しませて下さいました。

小生も高山植物に魅せられての登山が多かったが、田崎先輩の凄さは、花の名前はもとより、その薬効や、花にまつわる物語など、その花との出会いの時に丁寧に説明して頂き、同行者に山行を満喫させてくれました。

殆どの会員が高山登山の経験が薄く、体力も十分でなかったこともあり、低山と高山を織り交ぜながら計画を進め、徐々に参加者の体力をつけて行くことで、会員の士気も体力も揚っていきました。

調査登山は、第 1 回の大山登山の事前調査時から始まり、田崎先輩、桜井さんと小生が参加し、その後、初めての山は調査登山を行い、慎重を期し多くの山を調査しました。

印象に残った調査登山の一つは、天城山登山で、2月の河津桜観桜に合わせた山行のため、雪の季節でもあり、12月に調査登山を行いました。この日は雪が舞う天候状況で、少しばかり厳しい登山となりました。しかし、本番の日は晴れて穏やかな日となり、最高の山行ができました。もう一つは屋久島の宮之浦岳の調査登山がありましたが、残念ながら、会の本登山に繋がられませんでした。

斯様な調査登山を含む綿密な調査のお蔭で、安全な楽しい本番の登山が沢山でき、多くの会員に心のなごみを与えられたのではないかと思います。

楽しかった尾瀬縦走は、13名の参加で、燧岳登山経路組 10名と尾瀬沼沿いに縦走する 3名が参加しました。

田崎リーダーの先導で鳩待峠から入り、草紅葉

の尾瀬ヶ原を散策し、弥四郎小屋に入りました。ここで、定例の夕食後の談話会が始まりました。お酒の万寿を抱きかかえながらの、楽しい談義は文学的発想の兼子八郎(昭 38 学電)さんや、知識豊富な報道屋としての田崎先輩の蘊蓄を楽しみながら、学生時代のような雰囲気浸りして床に就きました。

翌朝 4 時そっと先発組は身支度をし、ヘッドランプの明かりを頼りに粛々と燧岳への登山を開始。バテそうになる仲間に田崎リーダーは、もう少しだと期待？を持たせながら頑張らせ、見晴らしの良い休憩場所まで皆を導きました。仲間への思いやりに満ちた言葉や行動には、敬服させられることがしばしばありました。長蔵小屋で別ルート組と合流し、楽しい昼食を摂り、大清水バス停までの三平峠越え歩程をこなし、全歩程を完遂しました。田崎リーダーの提案で、入浴を止めて生ビールで乾杯をし、バスで帰路に就きました。

このような素晴らしい山行を沢山企画し、また思いやりのある心で指導して下さいました田崎先輩には頭の下がる思いでいっぱいです。

田崎先輩が軽い脳梗塞を発症してから復帰し、小生も参加した最初の登山は、2010.11.21 催行の高川山登山でした。そのとき、少しザックの背負い方が左側にずれていたようにも感じましたが、足取りは軽やかで、疲れた様子もあまり見せずに走破されました。そのとき、完全復帰されたところでした。

いま、不帰の人とはなりませんが、山遊会のメンバーの心に、その姿は深く輝かしく残っております。

合掌



屋久島の宮之浦岳の調査登山(2006年11月)  
(左:故田崎氏、右:筆者)

残念ながら幻の調査登山となった。

### 著者プロフィール

故人の田崎耕八先輩と共に山遊会を立ち上げた山遊会発起人の一人で、初代の山遊会会長を担当した。百名山は 20 座登頂。

# 一睡の夢 幻の アストンマーチン

柳下 幸夫 (昭 49 学機)

ドバイという地名をご存知の諸兄も多いのではないのでしょうか。

そうです。あの世界一の高さ 828m を誇る『ブルジュハリファ』を持つ U A E (アラブ首長国連邦) の主要都市です。



## 3 年前に、定年退職祝

と称して、カミさんとドバイを訪問しました。建設業に携わった者として、集大成の建築物を直に目にしたいと思った次第です。地震の無い国ですから、形状も極めて自由であり、高さも 3 百 m 級が林立しています。機械屋としても、揚程 800m 超のタワークレーン、同じく、垂直に 800m を押し上げるコンクリートポンプ、分速 1000m の高速エレベーター等々、興味は尽きません。

ところで、ドバイ国際空港では、高級車 (ドリームカー) が高確率で当たるくじを買うことができます。当時 (3 年前) は、1 口 3 万円で、ポルシェやフェラーリ、ランボルギーニなどのドリームカーを対象に、500 口毎に抽選をしていました。すなわち、1/500 の高い確率で 3000 万円相当の車が当たる訳です。(現在は、1 万 5 千円で 1000 口に 1 本だそうです。)

早速買いました。私が選んだ車は、ポルシェやフェラーリでは通勤には使えない?? というところで、スーツでも乗れる英国車アストン・マーチンにしました。

無論、言わずと知れた 007 ジェームズ・ボンドの愛用車です。車種は中核の DB9 にしました。性能は、573 馬力、6000 CC、12 気筒で、6 段オートマチックながら、0~100 km/h は、わずか 4.6 秒、最高速度は 300 km/h に達します。

まさに、モンスターです。カミさん曰く、「仙台まで 1 時間位で行けるね。」と。いったい何処を走るんだい? ともあれ、申込みをして帰国しました。

そして、1 か月程後にメールが届きました。何とそこには、『あなたの DB9 の色は、ワイン

レッドです。』と書いてありました。当たったのか。でも、色は、『ブルーイッシュシルバー』でなくちゃと勝手なことを考えていました。

そして、我が家の立駐には納まらないので、外置き駐車場を探し始めました。なお、贈呈式には、往復ビジネスクラスの飛行機と 10 日間の三ツ星ホテル滞在が用意されています。忙しくなりそう。だが、それにしても、この車の燃費の悪いことといたら、なにせ 2 km/l しか走りません。それにしても、ボンドは、ヨーロッパ中を縦横無尽に走り回っているが、いつスタンドで給油しているのだろう。

そうこうしているうちに、1 週間程過ぎて、再びメールがあり、“確定しました。車は、インドの \*\* さんに当たりました。またの幸運を“と。がっかりしましたが、ほっとしたのも事実です。アラジンの魔法のランプから飛び出した大男は、また、煙と共にランプの中へと消えてしまいました。アブラカタブラ……。



アストン・マーチン  
DB9

## 著者プロフィール

出身地：那珂市

昭和 43 年水戸一高卒

昭和 49 年清水建設 (株) 入社。機械部配属

平成 12 年 (株) エスシー・マシーナリへ転籍

勤務地：首都圏、札幌、仙台、金沢

平成 22 年定年退職後オカコー (株) 入社

狛江市在住 錦糸町勤務

大学時代：硬式野球部・ラグビー部・旅の会  
等に所属

# ソーシャルで食を豊かに 40代からの起業

田中 秀樹 (平 06 院金)

## はじめに

2013年5月17日、新しいサービスが静かに公開されました。サービス名称は、「ご近所マルシェ探すなら あおぞらファーム」 (<http://aozorafarm.com/>)。スマートフォンのGPS機能を用い、近くにある野菜の直売所を検索するサービスです。直売所のデータは、ソーシャル(昔風にいえば、くちこみ形式)で収集しています。基本機能の利用は、無料。開発は、Github、Amazon EC2、Ruby等シリコンバレー流のクラウドコンピューティングを用いています。これが40歳を過ぎた私の新しいチャレンジ、起業です。



## なぜ今起業か？

「40代の起業は失敗の可能性が高い」それが、周りの方々が口にする言葉です。実は、私は、今回が初めての起業ではありません。NTTデータの社員であった32歳の頃、ベンチャー制度で最初の起業をしました。「社長をやるには若すぎる」それが周りの意見でした。実際は6期連続で黒字を達成することができました。その後も、起業を数回しておりますが、その度に「起業を止める声」がたくさん届きました。実は、私が創業した会社で赤字経営は一社もありません。ですが、上場まで大きくすることも出来ていません。前述した私の新しいサービス「あおぞらファーム」では、今までも一番大きな投資を行い、単月黒字化を早期に実現、上場を目指したいと考えています。30代では若すぎる、40代では年寄りすぎる、そんな声にめげず、大成を目指して努力を続けたいと考えています。

## 人口、世界、インターネット

皆さんご存知の通り、日本を取り巻く環境は大きく変わりました。人口は減り、日本以外のアジア勢の躍進があり、コンピュータ、インターネットの普及、そしてソーシャルの登場。ありとあらゆる場所で、変化が実感できるようになりました。もし、今が20年まえだったら、私は起業していないと思います。ですが、今は変化の時代。起業が唯一の生き残る策であると、考えています。少し後ろ向きな発言として受け取られるかもしれませんが、道は他に無いのかもしれない。

## 社会起業家として

「あおぞらファーム」は、フリーミアムというビジネスモデルを採用しています。インターネットサービスでよくあるビジネスモデルで、基本機能を無料でお使い頂く代わりに、追加で高度な機能が使いたいときには、些少のお金をお支払いいただくものです。他にも、広告を少し表示させていただく広告モデルと言われる部分もあります。売上げや利益は、会社を運営するためにはとても大切です。しかし、私は、売上げや利益が大きければそれで良いとは考えません。利用させていただく方々の利便性を一番に、社会に役立つサービスをご提供したい、それが私の実現したいビジネスです。今は、このような起業のスタイルを、社会起業家と呼ぶ場合もあるようです。私は、社会起業家として、生き抜いていきたいと考えています。

## だからこそ上場を目指す

最初の起業をしたころから、上場することを夢見ていました。「あおぞらファーム」を運営する株式会社 青山ファームという法人は、東京港区に本社をおき、巨大なインターネット企業の方々と、切磋琢磨しています。社会に役立つと信じているものだからこそ、自分の人生をかけることができると考えています。そして、永続的なサービスにしたいからこそ、上場を実現し、社会の公器としての法人を具現化し、私個人に依存しない、ソーシャルプラットフォームに育てていきたいと考えています。

「あおぞらファーム」には、既に2700を超える野菜直売所のデータが登録されています。茨城大学近隣も多く登録されています。先日も、「あおぞらファーム」を使って、JA 茨城ひたちの直売所を探し、茨城で出来たニンニクを買いました。私なりの表現で、私なりの社会貢献を、ずっと続けていきたい、そう考えています。それが私の茨城大学へのご恩返しでもあると信じています。

## 著者プロフィール

NTTデータ技術開発本部従事後、2000年に株式会社NTTデータポケット創業、ビジネスの傍ら、北海道大学、国立情報学研究所などの客員、特任助教授就任。インプレスグループ株式会社シンクイット代表取締役社長、E2パブリッシング取締役、Impress Watch 取締役など歴任。  
2009年 国立情報学研究所 特任教授  
2011年 グリー株式会社等を経て、  
2012年8月 東京大学情報理工特任研究員  
2013年3月 株式会社 青山ファームを創業  
<http://aoyamafarm.co.jp/>  
株式会社青山ファーム代表取締役  
博士(工学)。

# 幕末・明治の 会津の女性たち

羽賀 重弥 (昭 30 学電)

まえがき

今年、NHK TV の大河ドラマ・八重の桜のヒロインは同志社創立の新島義夫人で会津出身の八重(旧姓山本)である。ドラマでは会津独得の個性が随所に描かれている。平素は平凡な女性たちも幕末の社稷(しょく)の国難には身を挺して闘った人たちも多い。山本八重に就いてはTVドラマの進行に委ねるとして、その他の幕末・明治初期の会津の女性たちを紹介したい。



飯盛山の白虎隊墓地の傍らに山川健次郎先生(東大総長、京大総長等歴任)の「会津藩殉難烈婦碑」と題する碑がある。その文中に「…然るに我が藩の婦人は平素唯家事を務め子女を訓育し、長上に従順にして敢えて尋常婦人と異なる所なきが如くなれど、一朝君国の危急に際しては毅然として立ち、或いは戦闘に参加し敵弾に斃(たお)れ、或いは火を自邸に放ち自刃、肝脳血に塗(まみ)れて悔いざる者斯くも多かりしは前古未だ曾て聞かざるところなり。戊辰の国難に我が藩の白虎隊士等少年の忠死と婦人の殉節とは世上之れを称して会津藩の双壁という…」なる碑文がある。何故この様な独得の個性が育ったのであろうか。

## 会津藩の藩風に就いて

会津松平藩は保科正之(ほしなまさゆき)(1611~72)を以て藩祖とし幕末まで続いた。正之は徳川秀忠の庶子で三代将軍家光により引き立てられ、寛永20年(1643年)会津23万石を与えられた。血筋から言えば家康の孫に当たり家康の優れた要素を最も色濃く受け継いだ人であるとも言われている。

東北の近隣には米沢の上杉家や仙台の伊達家等戦国の武勲輝く家が多く、会津は単なる家康の子孫の故の大名であると言う引け目があり、それだけに正之は常に武士の優等生たらんことを非常に意識した。これが会津藩の基本理念となり幕末まで続き、その為教育を重要視した。

正之は藩の憲法である家訓(かきん)の第1条には徳川幕府に絶対の忠誠を尽くす条文となし、後に幕末京都守護職を引受けざるを得なくなり命取となった。序でにその第4条に「婦人女子の言は一切聞くべからず」と言うものもある。

また男の子供たちの遊びの掟には「戸外では女

と言葉を交えてはならぬ」と言う条文もあった。完全なる男尊女卑の社会である。後に藩校日新館が設けられ教育は益々充実した。子供たちの教科書に「日新館童子訓」があり、全藩士の家庭に配布、各家庭では女子もこの本を読み聞かせて育てられた。

## 1. 西郷 千恵子(1835~1868.8.23)

壮烈・一家女性全員自刃。

会津藩城代家老・西郷頼母の妻。敵軍が城下に攻め込んだこの日、千恵子は家族を集めて、籠城戦の手足まといになることを避け、国難に殉じる大義を説き娘、妹ら一家21人の女性全員が自宅で壮烈な自刃をした。そこへ踏み込んできた土佐の中島信行(のち初代衆議院議長)は未だ死にきれないでいた長女の介錯をした逸話(長女が“敵か、味方か”と聞くので”味方だ”と答えたところ、“武士のお情けを”と介錯を乞われた)も残っている。女性たちはそれぞれ皆辞世の歌を詠んでいる。

なよたけの 風にまかする 身ながらも  
たわまぬ節は ありとこそきけ 千恵子

この日、慶応4年8月23日、敵軍は予想外の速さで城下に達してきた。城下は市街戦や城に避難する人々で大混乱になった。会津藩のザ・ロングストデーである。飯盛山で白虎隊が自刃したのもこの日である。以後1ヵ月の籠城戦が始まる。西郷家以外でも女性たちが自刃した家は多い。

会津東山温泉の近くに観光施設の「会津武家屋敷」がある。これは西郷邸をモデルにしたもので大きな屋敷である。西郷頼母は明治まで生き残りその晩年は寂しかった。昔柔道の名人で「姿三四郎」と言う小説があったが、これは頼母の養子の西郷四郎をモデルにしたものである。



大砲で  
落城後の鶴ヶ城、小田山からの部分が大きく破損した。

## 2. 中野 竹子(1847~1868.8.24)

美人で能筆・薙刀の名手 壮烈な戦死。

会津藩勘定方で江戸勤務中野兵内の長女で江戸で育った。有能な人で備前板倉藩公夫人の右筆を務めていた。特に薙刀に秀でてTVドラマにも出てくる。

鳥羽伏見の戦の後、中野一家も会津に引き揚げ

た。敵軍が会津の城下に攻め込んだ8月23日、早鐘が鳴り武士の家族たちもお城に入り籠城戦が始まった。竹子は母、妹らと藩公の義姉・照姫を守る為に薙刀の武装をしてお城に向かい途中で照姫は城下から3里西の坂下に逃れたと聞いた。そこで同様に武装した他の女性たちと共に城に入らずに坂下に向かったが照姫の姿はなく誤報であった。この時武装の女性たち数十人は女子隊を結成し、女子軍となし竹子が隊長に推された。途中この方面に出陣していた家老萱野権兵衛の指揮する会津軍に会い、合流して戦闘に加わりたいと願い出たが、会津は女まで戦に駆り出したのかと見られるのを恥じて入隊を許されなかった。

坂下法界寺に一泊、翌24日お城に戻る事となった。越後方面から城に向かう部隊に会い合流同行したが目指す城下は火の海であった。薬師河原まで来ると敵軍は既に布陣、帰城するにはこれを白兵戦で突破する以外になく、夜間の敵陣突破となり、竹子たちの女子軍も薙刀で参戦、竹子は四人の敵を切り倒し大奮戦したが銃撃により壮烈な戦死を遂げた。竹子は薙刀に辞世の歌を結んでいた。芳紀まさに22歳、覚悟の戦死であった。今も飯盛山頂のみやげもの屋に竹子の薙刀を実物大に伸ばした写真が飾ってある。刃毀(こぼ)れいちじるしい。

もののふの 猛き心に くらぶれば  
数にも入らぬ 吾が身ながらも 竹子

### 3. 瓜生 岩子(1829~1897)

孤児救済・福祉事業の博愛家。

岩子は武家の出ではなく小田村の油屋の娘であった。15歳の時火災で家は倒産、父親も亡くなり母の実家の熱塩温泉旅館の山形屋瓜生家に身を寄せた。

17歳の時若松城下の叔父であり町医者の山内春箒の屋敷に行儀・家事見習いに3年間住み込みで働いた。この時多忙な叔父医者を手伝った医術見習いが後に福祉の道を拓く事になった事に大きく影響している。

20歳で呉服商と結婚したが間もなく死別、店も倒産し母の実家の温泉旅館に戻る。悄然としていた時に近くの慈願寺の住職より「世にもっと不幸な人は多い。人を救う道を進め」と諭された。

やがて戊辰戦争、若松城下では多くの死傷者や戦災孤児がでた。岩子40歳、近くの青年たちを引き連れて医療活動や救援に赴き敵味方の区別なく活動を行った。岩子は水飴作りが得意でそれまで捨てていた搾りかすに工夫をこらし蒸しパンを作り水飴と一緒に販売してその利益をこれらの活動にあてた。

これを契機に岩子の福祉活動は続き明治15年福島県令三島通庸の知遇を得て活発化した。明治24年上京して窮民救済のため女性として初めて国会に請願書を提出し一層その活動を発展させた。やがて後藤新平と出会い無料診療所の全国設置や



台湾の救援活動には長男を台湾に送った。明治29年に女性として初めて藍綬褒章を受賞、翌明治30年過労のため没した。浅草寺に左の坐像(ウィキペディアより)があり、この他喜多方市に3体、福島市に2体の像が製作されている。

### 4. 大山(山川) 捨松(1860~1919)

日本最初の女子留学生・大山巖夫人。

会津藩家老山川大蔵(のち浩)、健次郎(のち東大総長)の妹、幼名山川咲子。8歳の時戊辰戦争に遭遇、母たちに連れられて鶴ヶ城籠城戦を体験する。

会津は敗れ世は明治となる。新政府は近代国家を作るべく多くの若者を海外留学生に派遣した。兄の健次郎は選ばれて米国東部のニューヘブンにあるエール大学に留学していた。咲子も日本人初の5人の女子留学生に選ばれた。咲子の母は遠い所に行くので捨てたつもりで帰るのを待つという意味で名前も捨松と変えさせ、明治4年11月岩倉使節団の船で津田梅子らと共に米国に向かった。捨松は語学研修の後、兄の健次郎のいるニューヘブンの牧師宅にホームステイをして基礎学科を学ぶ。この時健次郎は12歳の妹が日本語を忘れるのを心配して厳しく日本語を指導した。(同時に留学した津田梅子は帰国後日本語の読み書きに大変不自由したという。)

明治11年9月東部の名門バツサーカレッジ入学、優秀な成績で卒業し、明治15年10月、10年間の留学生生活を終えて津田梅子と共に帰国した。翌年米国の新聞に「日本の印象」と題する一文を寄稿して識者の間でも評判になった。

その年特に望まれて陸軍卿大山巖と結婚。当時の日本は条約改正に腐心していた時で鹿鳴館外交華やかな時代、陸軍卿夫人として大いに活躍した。容姿端麗、頭脳明晰な捨松は鹿鳴館の華と言われた。

当時の日本は未だ婦人の地位が低く捨松はその向上に大いに努力し、津田梅子が女子英学塾を設立するに当たっては非常な尽力している。

明治37年日露戦争が勃発、大山巖は満州軍総司令官として出征、其の留守を守り、また日本特志看護婦人会の理事に就き社会活動もなし、明治の近代的女性として大きく社会に貢献した。

#### 著者プロフィール

S25-3 福島県立会津高校卒業  
S30-3 茨城大学電気工学科卒業  
S32-4 日立エンジニアリング(株)入社  
H7-11(株)日立エンジニアリングサービス退社  
H12~14年 茨城大学教育学部非常勤講師  
(会津史学会 会員)

## 支部めぐり

# 関西支部の紹介

支部長 高橋 昌之 (昭44 精密)

東京支部の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃、貴支部は多賀工業会のリーダー的立場で行動され、関西支部としても、例えば、東日本大震災での大学への支援活動等、大変参考にさせて頂いています。有難うございます。



関西支部の紹介ですが、先輩たちのご努力により昭和45年に2番目の支部として設立しました。現在会員数：約450人。

地域：2府4県（大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山）と一部三重県、長野県と非常に広範囲にわたっています。

主な活動：支部総会開催、年2回の会報発行、会員名簿の編纂、ゴルフ同好会（唯一の同好会）の開催です。総会での会員の出席者数は、ここ数年30人前後でやや減少しつつあります。特に協力的であったS30年以上の会員の方々が体力的に参加できなくなり、逆に若い会員の方々はあまり同窓会に関心が無く、いまのまま何もしないと将来、会の存続が心配になります。もう一つの課題は、支部の運営費が年々減少しています。（会費の納入は、会員の1/4程度）

このため、今年度は

- ・会の活性化のためウォーキング同好会の発足
- ・支部運営健全化のため会費以外に、寄付もお願いする

を実施します。

地域が広範囲なため、同好会についてはなかなかまとまりにくい点はありますが、少しでも活性化の可能性があれば・・・と取り組んでゆきます。（貴支部が羨ましいです。）

逆に、地域が広範囲なため、年2回発行の会報の表紙を「関西の祭り」、「関西の名所旧跡」などシリーズ化して2府4県を紹介しています。

総会への参加者を増やすには（特に若い人に来てもらうには）、会の雰囲気を変える必要があると感じます。このためには私は、1人でも女性の会員が参加していただけたなら・・・と思います。このためには、貴支部の女子会が盛んになり、遠

く？関西支部にも影響を与えていただけたらと期待しています。宜しくお願いします。



関西支部の総会（↑）に出て、会員と話をすると本当に趣味が豊富で多才な人が多く、私にとっても刺激になります。最後に関西支部の多才な人の一人を紹介します。

それは工藤敏行（昭38 学金）工学博士です。3冊の本の出版

- (1) 新たな映像への世界への挑戦（技術書）
- (2) 樺太、わが心の故郷（337頁の大作。歴史、地勢、文化書）
- (3) 茶蘭歩乱先生 大いに、つぶやく（↓：表紙）（似顔絵入り随想）

下記似顔絵は、既に関西支部の会報に掲載した工藤氏の作品の一部です。（手持ち800枚以上、1枚描く時間は30分程度）

結びに、貴支部ならびに会員の皆様のご発展、ご活躍を祈念し、関西支部の紹介とさせていただきます。



似顔絵作品：私は誰でしょう。（答：この頁上段）



# お知らせ

## 囲碁同好会



会長  
田中 栄太郎 (昭 40 学化)

現在、会員の登録者は、専通 22 の大先輩から  
学子 51 の若手までの方々 38 名で、棋力は七段から  
9 級までいろいろです。大会は、年に 4 回で、  
2 月、5 月、11 月の第 2 土曜日と 8 月の第 1 土曜  
日に東京駅近くの碁会所「いずみ囲碁ジャパン」  
で行います。試合は、午前 10 時から夕方まで、  
参加者各人が 5 回対局する方式で熱戦を繰り広げ  
ます。

初回の棋力は申告制で、ハンディ制を採用して  
いて、段級位にかかわらず、勝つチャンスがある  
ような運営システムでやっています。成績次第で、  
段級位が昇降します。囲碁に関心のある方は、ご  
参加ください。

会費は 2,000 円 (入場料、運営費を含む) で 1  
位から 6 位まで (参加者数による変更有り) の方  
と実力を発揮できなかった方 1 名に奨励賞が授与  
されます (準スイス方式を採用)。対局終了後、会  
場近くで、希望者による簡単な懇親会を行って  
います。(敬称略)

尚幸道貞一 (昭 22 専通) 氏は 2 月大会参加後 3  
月下旬ご逝去になりました。謹んでご冥福をお祈  
りします。(関連記事：1 頁左側、25 頁編集後記  
の (4)。)

\*\*\*\*\*



第 53 回多賀工業会囲碁大会参加者 (写真)

後列左から：寺内道義五段、安田四段、渡辺 9 級、  
阿部二段、桜井三段、寺内賢一四段、藤沼四段、  
豊田四段、粕谷二段  
前列左から：田中四段、山田五段、白石初段、  
兼子二段、山下七段、山崎 3 級、小白井二段、  
幸道初段

田中 栄太郎  
連絡窓口：  
TEL/FAX  
0466-82-4988

\*\*\*\*\*

大会入賞者 (支部会報第 15 号記載以降)

大会	開催日	優勝	準優勝	三位	四位	五位	六位	奨励賞	参加者
5 1	2012 08-04	藤沼四段 (機 43)	阿部二段 (子 44)	寺内 (賢) 四段 (電 38)	山崎 3 級 (原 31)	山田五段 (電 42)	幸道初段 (通 22)	山下七段 (電 32)	15 名
5 2	2012 11-10	山田五段 (電 42)	寺内 (賢) 四段 (電 38)	寺内 (道) 四段 (化 44)	藤沼四段 (機 43)	山崎 3 級 (原 31)	田口五段 (電 32)	桜井三段 (機 38)	14 名
5 3	2013 02-09	寺内 (道) 四段 (化 44)	小白井 二段 (機 28)	安田四段 (子 46)	阿部二段 (子 44)	山下七段 (電 32)	粕谷二段 (電 42)	渡辺 9 級 (電 32)	18 名
5 4	2013 05-11	高田三段 (機 28)	寺内 (道) 五段 (化 44)	藤沼四段 (機 43)	粕谷二段 (電 42)	山下七段 (電 32)	阿部二段 (子 44)	山田五段 (電 42)	15 名

\*\*\*\*\*

### 旧制水戸高校と親善囲碁大会

高田 丈夫 (昭 28 学機)

本大会は千葉県支部、埼玉支部からの応援  
参加を得て、溜池山王の細川ビルで行われて  
います。

第 10 回：平成 24 年 8 月 18 日 (土)

参加者：水高側 8 名、多賀工業側 12 名

多賀工業会側の勝敗 22 勝 22 敗

東京支部 (8 名)

小白井和典、高田丈夫、山下正明、田口嘉男、兼子  
八郎、寺内賢一、田中栄太郎、藤沼隆夫

千葉県支部 (2 名)

佐藤隆義、高橋孝雄、

埼玉支部 (2 名)

白石道彦、粕谷利夫



## ゴルフ部



部長 青野 潔 (昭 41 学化)

部活動として、定期的に、春夏のコンペと近隣五支部による対抗戦を初夏に各支部持ち回りで開いております。最近の活動内容は次のとおりです。

1. 第 22 回 (H24.4.18) 参加者 13 名
2. 四支部対抗懇親コンペ (H24.5.23) 東京支部が幹事担当し参加者 21 名  
いずれも紫 C C。昨年、会報 15 号にて既報

### 3. 第 23 回多賀いちよう会コンペ

平成 24 年 11 月 14 日 (木)

紫 C C あやめ東コース

参加者：13 名

上田正雄 (昭 37 学機)、小林一 (昭 38 学機)、綿引貞男 (昭 38 学電)、大久忠雄 (昭 38 学電)、根本勉 (昭 38 学電)、磯部亮 (昭 38 学精)、森俊和 (昭 40 学化)、青野潔 (昭 41 学化)、角田勇 (昭 43 学子)、小澤茂 (昭 43 学子)、佐藤将彦 (昭 43 学子)、西岡周二 (昭 47 学機)、松田秀雄 (昭 49 院子)

優勝：佐藤、2 位：森、3 位：青野

### 4. 第 24 回多賀いちよう会コンペ

平成 25 年 4 月 17 日 (水)

紫 C C あやめ東コース

参加者：10 名

上月、大久、小林、駒場方耀 (昭 38 学機)、兼子八郎 (昭 38 学電)、森、角田、佐藤、松田、青野

優勝：駒場、2 位：佐藤、3 位：小林

### 5. 五支部対抗コンペ (千葉県支部担当)

平成 25 年 5 月 22 日 (水)

成田フェアフィールド GC

参加者：22 名

東京支部は、西岡 (3 位)、青野 (5 位)、小林 (7 位)、佐藤 (8 位) と平均した好成績を収めて、団体優勝致しました。来年は、水戸勝田支部担当で計画されます。

6. 近頃の活動と数年前の状況を比較しますと、参加者の減少が顕著です。若手の入会が少ないのとゴルフをやめる方が増えている事が、要因と思います。振興策を考えなければおもいますが、まず、若手 (?) 部員の増加を図らなければとあせっております。**是非、多賀いちよう会でゴルフを楽しんで下さい。**

## 連絡窓口:

部長：青野 潔 TEL 044-954-2573

副部長：佐藤 将彦 TEL 050-7524-0949



第 23 回多賀いちよう会 (2012.11.14 紫 C C あやめ東コース) コンペ参加の皆さん  
後列 (立位) 左から 松田、佐藤、西岡、磯部、角田、上田、大久、根本、綿引、森  
前列 (屈位) 左から 小澤、小林、青野



# 山遊会



会長 **小森 廣樹**(昭 42 学機)

平成 24 年夏に美ヶ原フラワーハイク、25 年春に鶴見散策を行いました。

なお、山行計画ごとに約 1 ヶ月前に「多賀工業会東京支部」のホームページに掲載して参加者を募集しています。会員でない方の参加も歓迎します。**是非参加してください。**

## 1. 第 40 回 美ヶ原フラワーハイク

日本百名山 2,034m

実施日：2012 年 8 月 23 日 (木) 日帰り

企画及びリーダー：田崎耕八 (昭 32 学電) 行

程：新宿西口ー美ヶ原・山本小屋ー山頂・王ヶ頭ー王ヶ鼻ー山本小屋ー新宿西口

参加者：田崎、矢野睦男 (昭 32 学原)、青野潔 (昭 41 学化) (毎日旅行ツアー)

新宿西口から中型バスで約 3 時間半、美ヶ原・山本小屋 (2,000m) に到着。美ヶ原一帯は美ヶ岳と呼ばれ日本百名山の一つ。山頂一帯が 2,000 m、面積 600ha の台地となって広がる草原で立木が一本も生えていない放牧地。数々の高山植物が群生している。花の写真を撮りながら最高地点の王ヶ頭に到達。ここで昼食をとり王ヶ鼻へ向かう。王ヶ鼻からは西の眼下には松本市、その向こうに北アルプス、奥穂高岳から槍ヶ岳まで望めたが、積乱雲が発生して槍の鋭鋒は一瞬しか見られなかった。しかし御嶽山、中央アルプス、南アルプス、八ヶ岳までも見渡せる素晴らしい展望であった。ここから来た道を通って山本小屋に戻った。



<王ヶ頭山頂の参加者>

[東京支部HP 報告書 (報告者：田崎) より抜粋]

## 2. 第 41 回 鶴見総持寺拝観と三ツ池公園散策

実施日：2013 年 3 月 30 日 (土)

企画及びリーダー：小森廣樹 (昭 42 学機)

行程：鶴見駅ー総持寺ー三ツ池公園ー鶴見駅。

参加者：矢野、兼子八郎 (昭 38 学電)、林 (特別会員)、小森

JR 鶴見駅を 10 時 30 分に出発。徒歩で 5 分のところに曹洞宗・大本山総持寺の入り口がある。ここから山門をくぐると広い伽藍が開けている。市街地に隣接した鶴見が丘に 15 万坪の大伽藍を持つ。曹洞宗は福井県に永平寺 (開祖・道元) 能登に総持寺 (開祖・瑩山) と二つの本山を持っていたが、明治 31 年総持寺が火災で焼失。寺の再建は関東へということで明治 40 年鶴見へ移転、着工。伽藍配置の大きな特徴は能登の経験から火災での類焼を防ぐため、東側に寺務部門を置き、西側に修業道場を離して建て、この間を百間廊下 (120m) でつなぎ、他は建物と建物の間を延べ約 200 間の諸廊下でつないでいること。

ここから徒歩で三ツ池公園に行く。県立三ツ池公園は日本桜名所百選の一つで、十数万坪の敷地の中に 78 品種、約 1,600 本の桜が植えられている。三つの池があり、この池を丘が取り囲んでいる地形。



<三ツ池公園>

桜は三つの池の周りとうちの上にとたくさん咲いており、変化に富んだ景観だが、今年は例年より十日以上開花が早かったため、花は盛りを過ぎていた。

それでも、まだ花はだいぶ残っており、花見の気分は十分に味わうことができた。

[東京支部HP 報告書 (報告者：小森) より抜粋]

田崎耕八 (昭 32 学電) 氏は今年 1 月に逝去されました。謹んでご冥福をお祈りします。(関連記事：10 頁、25 頁の編集後記 (4) )

**連絡窓口** : 小森 廣樹

TEL/FAX 045-573-3625



# 写真部

部長 三好 成實(昭 39 学機)

写真部は現在のところ会員 18 名で春、秋 2 回の撮影会の開催と茨城大学工学部キャンパスでの「こうがく祭」、東京支部「同窓の集い」での写真展示などを通して会員相互の親睦を深めています。平成 24 年度の活動については以下の通りです。

## 1. 春の撮影会

H24 年 5 月 1 日(火) 亀戸天神社にて開催。狙いは藤の花だったがちょっと時期的に早かった感あり。参加者(下記写真)は後列左から三好成實(昭 39 学機)、山崎慎一郎(昭 31 学原)、鈴木日出男(昭 30 学原)、小林渡(昭 38 学電)、ゲスト、前列左から大久忠雄(昭 38 学電)、玉川信二(昭 28 学電)、兼子一郎(昭 38 学電)、森田徹郎(昭 42 学電)の 9 人。



## 2. 「こうがく祭」での写真展示

H24 年 6 月 1 日(土)に茨城大学日立キャンパスで開催された「こうがく祭」の一環として、多賀工業会各支部の写真部、写真愛好者による作品の展示を行った。東京支部写真部から 8 名、15 点の作品を出品展示した。

## 3. 第 32 回東京支部「同窓の集い」

H24 年 10 月 13 日に開催され、作品を展示。出展リストは次頁に掲載しています。

## 4. 秋の撮影会

例年秋に開催している撮影会を今年度は雪の白川村を撮影するため H25 年 1 月 9~10 日の実施となった。

参加者は 4 名とちょっと少なかったが天候にも恵まれ冬の飛騨、信州の景観を満喫した。

## 5. 写真部総会

H25 年 4 月 24 日(水)文京区民センターにて開催。参加者 10 名。

- (1) H25 年度組織体制(留任)  
部長 三好成實  
顧問兼副部長 山崎慎一郎  
副部長 石川 久(昭 44 学子)  
顧問 玉川信二  
技術顧問 鈴木日出男、小林 渡

## (2) 会報表紙写真の選定

東京支部会報第 16 号の表紙写真を持ち寄った部員 7 人、16 点の写真の中から投票で選んだ。その結果小林渡氏の作品が選ばれ、本号の表紙を飾ることとなった。

## (3) 写真技術についての講習会

埼玉支部写真部長の高橋伸二氏による画像処理「Photoshop Elements」の技術講習会を行った。



↑ : 高橋講師が熱心に詳しく説明中です



↑ : 講習会参加の皆さん

## 6. 今年度の活動計画

- ・春の撮影会 H25 年 5 月 15 日(水)「東京水辺散歩」と称してお台場~浅草間にて実施。
- ・「こうがく祭」での写真展示。
- ・秋の撮影会
- ・東京支部「同窓の集い」での写真展示など。

## 連絡窓口:

三好成實 TEL/FAX 042-726-6538

# 「こうがく祭」写真展示

三好 成實 (昭 39 学機)

H25 年 6 月 2 日 (日) 茨城大学工学部日立キャンパスで「こうがく祭」が催され学内は多くの観客で賑わったが、この「こうがく祭」で例年どおり多賀工業会館で各支部合同写真展示を行った。

東京、埼玉、千葉の各支部の 14 名の作品 24 点が展示された。今年は「こうがく祭」のプログラムに正式にエントリーされ、多数の来客が期待されたがさほどの観客の増は認められなかった。

この展示については作品のフォーマット、展示方法、展示場所などを本年中に関係者が集まり打ち合わせを行う予定である。



写真展会場(期待されたほどの観客増とはならず)



## 第 32 回同窓の集い写真展出展リスト

<注>三好氏の作品のみフィルムカメラによる撮影で、その他は全てデジタルカメラによる撮影です。

題名の前の「26p」欄の○印の作品は 26 頁にカラー版で、△印は 4 頁にモノクロ版で掲載されています。

氏 名	卒年・科	26p	題 名	撮 影 地	特 記 事 項
菊池 玲二	昭 26 専通	○	虹の交番	東京都・池袋	
			東京よさこい祭り	東京都・池袋	
玉川 信二	昭 28 学電		カナディアンロッキーの山	カナダ・バンフ	
			海を渡った仏像		
鈴木日出男	昭 30 学原	○	村の子	ネパール	第 62 回埼玉県展入選
寺門 修	昭 30 学原		情熱	神奈川・川崎	川崎市美術展入選・奨励賞
			縄張り巡回中	神奈川・川崎	読売写真クラブ神奈川本部入選
山崎慎一郎	昭 31 学原	○	客を待つベルベル人	モロッコ・カスバ街道	
坪 弘	昭 37 学機	○	ミルキーブルーの湖	ニュージーランド・ブカキ湖	
			アウシュビッツ収容所	ポーランド・アウシュビッツ	
小林 渡	昭 38 学電	○	家族・絆	神奈川県・江ノ島	2012 年度人間大好フォトコンテスト入選
			カスバ街道	モロッコ・カスバ街道	2011 年度県民が見た世界遺産 金賞
高萩 隆司	昭 38 学電		カニミート	アルゼンチン・ブエノスアイレス	
			石の都	ペルー・マチュピチュ	
		○	アンデスの少女	ペルー	
三好 成實	昭 39 学機	△	異形の街	東京都・原宿	
			根雪のつもる頃	山形県・新庄市	東京支部会報第 15 号 (昨年) 表紙に採用
高橋 信二	昭 41 学機		俺が主演	千葉県・香取市	
石川 久	昭 44 学子		威嚇	東京都・多摩動物園	
		○	気合	東京都・靖国神社	
堀口 正治	昭 46 修子		A Lovely Earth	カナダ・トロント	第 43 回カラーフェアフォトコンテスト入選
			地底の光彩	アメリカ・アリゾナ	第 44 回カラーフェアフォトコンテスト入選
		○	ムーンサルト in 大洗	茨城県・ひたちなか市	海の街・大洗大撮影会 2010 最優秀賞

# 平成24年度会費納入者

(敬称略、順不同)

平成25年4月以降の納入は掲載しておりません。

氏名の前の□は平成23年度以前分も同時納入の方で中の数字は繰上年数を示します。

氏名の後の○は平成25年度以降分を同時納入もしくは既納入の方で中の数字は前納となる年数を示します。

\* 会費ご納入有難うございました。納入された方で記載漏れや間違いがありましたらご寛恕の上、ご連絡下さい。  
未納の方はご入金をお願いいたします。  
Tel & FAX 045-891-2232(本名簿作成者:兼子)

昭16専機 大矢 純一①	昭28学電 稲見 孝	昭36学機 1 柏木 尚	昭38学電 佐々木 登喜夫 ④
昭17専機 田邊 邦行	昭28学電 近江 義勝	昭36学機 上月 秀俊	昭38学電 庄田 幸夫 ①
昭17専金 坪能 進	昭28学電 白瀬 達郎	昭36学機 境 茂郎	昭38学電 田川 政行
昭18専金 市島 健男 ⑨	昭28学電 玉川 信二	昭36学機 真下 知行 ④	昭38学電 新沼 厚生
昭18専金 山田 実	昭28学電 橋本 久美	昭36学機 森永 隆宏	昭38学電 1 橋本 政巳 ④
昭19専原 朽本 二郎	昭28学電 藤田 史郎	昭36学機 綿引 憲夫	昭38学電 熊谷 文男 ①
昭19専原 藤田 勲	昭28学電 赤城 清	昭36学電 小宅 仁 ④	昭38学電 高萩 隆司
昭19専精 小泉 篤	昭29学原 奥野 眞治	昭36学電 佐伯 明良 ①	昭38学電 綿引 貞男 ④
昭19専精 柳田 裕美	昭30学機 佐藤 久弥	昭36学電 橋本 正直	昭38学電 1 小島 淳
昭20専原 友保 伊弘	昭30学機 檜山 邦良	昭36学金 高信 和明 ②	昭38学電 坂野 栄
昭20専精 1 田島 廣一	昭30学機 小室 敏之	昭37学機 坏 弘	昭38学電 橘 弘
昭20専電 都築 久一	昭30学原 鈴木 日出男	昭37学機 栗橋 貞夫 ②	昭38学電 寺内 賢一 ②
昭20専通 山本 奎兵衛	昭30学電 木村 好延	昭37学機 澤野 孝慈 ②	昭38学電 根本 陽 ②
昭22専機 小亀 秀郎	昭30学金 三本木 武	昭37学機 野本 光彦 ①	昭38学電 内田 茂
昭22専機 佐藤 喬太郎	昭31学機 高橋 義博 ②	昭37学機 服部 則男	昭38学電 故 廣瀬 行一 ③
昭22専金 増山 哲也 ①	昭31学原 瀬在 城雄	昭37学機 宮沢 信夫	昭38学金 海老原 雄二
昭22専金 土屋 敏夫 ④	昭31学原 山崎 慎一郎	昭37学電 上田 正雄	昭38学化 大塚 進 ⑦
昭22専金 明石 和夫	昭31学電 大内 孝	昭37学電 2 西川 正登	昭38学化 小池 利彦
昭22専通 故 幸道 貞一	昭31学電 藤川 俊明	昭37学金 篠原 康祐	昭38学化 白石 道彦
昭22専通 中村 弘	昭32学機 伊藤 義次	昭37学金 舟田 隆	昭38学化 高木 二郎
昭22専通 前田 豊昭	昭32学機 柴田 勇治	昭37学化 寺門 紘	昭38学化 矢部 功一 ③
昭22専通 今井 俊夫	昭32学機 平沢 正一	昭37学化 阿部 徳治	昭38学精 磯部 亮
昭22専通 保坂 博	昭32学原 金子 栄	昭38学機 河上 弘一	昭38学精 市村 敬司 ②
昭23専金 菊地 秀利	昭32学原 矢野 睦男	昭38学機 小林 一	昭38学精 上野 武彦 ①
昭23専金 村山 昭平	昭32学原 1 榊原 康夫	昭38学機 駒場 方耀	昭38学精 1 黒羽 昇 ①
昭23専電 塩野 譲	昭32学電 田口 嘉男	昭38学機 丹下 宏	昭38学精 矢嶋 國男
昭23教電 千野 吉治 ①	昭32学電 故 田崎 耕八	昭38学機 豊田 元雄	昭39学機 三好 成實
昭24専機 若林 麟介	昭32学電 山下 正明	昭38学機 寺門 章	昭39学機 1 小林 章夫 ③
昭24専精 鳥山 尚利	昭32学電 横山 衛 ①	昭38学機 中村 好秀	昭39学機 佐川 六郎
昭24専電 白石 壽男 ②	昭32学電 1 渡辺 英雄	昭38学機 半田 守正	昭39学電 原 俊彦 ④
昭24専通 海老原 和	昭33学機 奥 康治 ⑧	昭38学機 牧山 永三	昭39学金 2 入江 暢泰 ②
昭24専舶 小峰 弘	昭33学原 吉久保 節男	昭38学機 益子 洋一	昭39学金 横山 安行 ①
昭24専舶 杉山 六郎	昭33学電 島田 直彦	昭38学機 徳江 景英	昭40学機 熊倉 通
昭25専原 忍田 邦夫	昭33学金 三浦 陽	昭38学電 1 今橋 富美男	昭40学電 手塚 勇夫
昭26専原 渡邊 貢	昭34学原 粕谷 宏夫	昭38学電 遠藤 喜久男	昭40学電 山崎 輝行
昭26専通 菊地 玲二 ③	昭34学原 秋山 光庸	昭38学電 大竹 充 ①	昭40学金 松本 二郎
昭28学機 坂場 昭二	昭34学電 千葉 克男 ③	昭38学電 大久 忠雄	昭40学化 田中 栄太郎
昭28学機 高田 丈夫	昭34学電 結城 佑	昭38学電 兼子 八郎 ⑤	昭40学精 大泉 雅靖
昭28学機 斎田 和夫 ②	昭35学機 高野 久弘	昭38学電 後藤 紀夫	昭41学化 青野 潔
昭28学原 山口 茂男	昭35学電 小島 正	昭38学電 小林 渡	昭41学化 岡本 実 ③

昭41学化 小沼 淳志 ②	昭43学子 野崎 淳一 ⑤	昭46学電 飯塚 英一	昭53学精 亀ヶ谷 茂
昭41学化 斎藤 保夫	昭43学子 金子 民生	昭46学電 狩野 守	昭53学情 西部 俊憲
昭41学化 矢島 勝司 ③	昭43学子 袴塚 邦彦 ①	昭46学子 栗原 功幸	昭55学機 長 正彦 ④
昭41学化 橋川 隆夫	昭43学金 鈴木 竹四	昭46学子 安田 健博 ③	昭55院電 ①丸島 國義 ①
昭42学機 小森 廣樹	昭43学化 池上 毅	昭46学金 大井川勝雄 ③	昭55院子 竹井 日出夫 ①
昭42学機 菅谷 禎男	昭43学精 大久保 一男	昭46院機 岡本 和彦 ⑤	昭56学機 峰村 勝幸 ①
昭42学機 藤嶋 久波	昭44学電 緑川 晃 ②	昭47学機 高田 洋 ③	昭57学機 ③水口 一郎 ①
昭42学電 粕谷 利夫 ④	昭44学子 五十嵐 幸治	昭47学機 西岡 周二 ⑤	昭58学機 有路 博 ③
昭42学電 森田 徹郎	昭44学子 ①石川 久 ③	昭47学子 五十嵐喜良 ②	昭59学子 仲澤 斉 ①
昭42学電 山田 恵規 ⑥	昭44学子 笹島 晃	昭48学機①金子 芳久 ③	昭60学電 太田 悦子
昭42学金 小菌井 健	昭44学子 常盤 浩央	昭48学機 宮城 緑郎	昭60学精 豊福 秀敏
昭42学精 下ノ村 勇	昭44学子 野澤 敏矩 ④	昭48学子 細矢 徹夫	昭62学化 鈴木 葉子
昭42学精 山本 蕃	昭44学子 堀口 正治	昭48学金 小川 公史	昭63院情 ①二川 克美
昭43学機 遠藤 義和 ②	昭44学子 吉田 真吾	昭48学金 佐々木光正 ①	平8学電・子 生井澤 伸秋 ②
昭43学電 後藤 豊弘	昭44学子 阿部 正志	昭49学金 松田 研治	平8院生 東 學 ①
昭43学子 小澤 茂 ③	昭44学金 酒井 茂	昭49院子 松田 秀雄 ①	平9学都 小林 靖典
昭43学子 川野輪 滋美	昭44学精 岩波 茂	昭51学子 鈴木 弘光	平10学機 山本 夏江 ②
昭43学子 佐藤 将彦	昭44学精 菊地 政行	昭53学子 加藤 邦治	平10学機 吉田 順子
昭43学子 鈴木 弘道 ①	昭45学電 永木 利夫 ⑤	昭53学子 松田 重俊	
昭43学子 角田 勇	昭45学子 藤枝 伸一	昭53学子 小澤 喜宏	合計 238名

## 平成23年度分会費納入者

平成24年度分と同時納入の方は、平成24年度会費納入者欄の氏名左側に数字入りの口印をつけて表示しています。

昭16専原 小川 義夫 昭18専機 宮崎 至誠

昭28学機 小白井 和典

## 平成24年度寄付者名簿

ご寄付有難うございました。

昭19専原 藤田 勲	10,000	昭38学電 故廣瀬 行一	50,000
昭42学機 小森 廣樹	10,000	昭43学子 野崎 淳一	6,000

年会費納入のお願い : 添付の払込取扱票でお早めにご入金下さい。  
寄付の場合もこの用紙をお使い下さい。

皆様に納入して頂く年会費とご寄付が当支部の主な財源となっています。

この年会費納入者名簿にお名前がなければ、昨年度（平成24年度）の年会費は未納となっています。

会員の皆様の過去5年間分の会費納入状況データを、皆様宛会報送付封筒の宛名書き部分に、表示しました。

卒業年学科の後の(H20～H24)に続く、「1」と「0」だけからなる5桁の数字です。「1」は年会費納入を示し、「0」は年会費未納を示します。H20年からH24年までの納付状況が、5桁の数字の左側から右側に向けて順に表示されています。下記例示をご覧ください。 <宛名サンプル例示 (C) に該当します>

- (A) 11111→5年間分完納。
- (B) 11110→4年間納付したが昨年度分は未納。
- (C) 11100→3年間納付したが一昨年から2年分未納。
- (D) 00000→この5年間未納。会報未送 付年を含む。
- (E) 00111→H22から3年間納付。会報未送 付年を含む。

101-1234 会報16号在中  
東京都千代田区多賀町1-2-3  
多賀本町住宅 3番街 5-2345  
多賀専 学太郎様  
昭XX学○ (H20～H24) 11100

# 平成 25 年度東京支部 組織体制と担当役務

平成 25 年 6 月 1 日 改訂

- 顧問 渡辺 貢 (昭 26 専原)、近江 義勝 (昭 28 学電)、  
三本木 武 (昭 30 学金、多賀工業会副会長)、鈴木 日出男 (昭 30 学原)
- 支部長 上月 秀俊 (昭 36 学機、多賀工業会理事)
- 副支部長 駒場 方耀 (昭 38 学機)、小林 渡 (昭 38 学電)、兼子 八郎 (昭 38 学電)
- 幹事会 幹事長 小林 一 (昭 38 学機)  
副幹事長 大泉 雅靖 (昭 40 学精)  
会計幹事 森田 徹郎 (昭 42 学電)
- 監事 高木 二郎 (昭 38 学化)、田中 栄太郎 (昭 40 学化)
- 会報編集室 編集室長 兼子 八郎 (昭 38 学電)  
副編集室長 小林 渡 (昭 38 学電)、石川 久 (昭 44 学子)、藤枝 伸一 (昭 45 学子)  
編集室員 三本木 武 (昭 30 学金)、鈴木 日出男 (昭 30 学原)、山崎 慎一郎 (昭 31 学原)、  
金子 芳久 (昭 48 学機)、柳下 幸夫 (昭 49 学機)、松田 秀雄 (昭 49 院子)、  
鈴木 葉子 (昭 62 学化)、二川 克美 (昭 63 院情)
- ホームページ編集室 編集室長 矢野 睦男 (昭 32 学原)  
副編集室長 飯塚 英一 (昭 46 学電)
- 名簿編纂室 編纂室長 飯塚 英一 (昭 46 学電)  
副編纂室長 一  
昭 16 年から 26 年担当 兼子 八郎 (昭 38 学電)  
昭 28 年から 35 年担当 山崎 慎一郎 (昭 31 学原) 注) 昭 27 年度卒は無。  
昭 36 年から 45 年担当 駒場 方耀 (昭 38 学機)  
昭 46 年から 50 年担当 大泉 雅靖 (昭 40 学精)  
昭 51 年から 55 年担当 柳下 幸夫 (昭 49 学機)  
昭 56 年から 60 年担当 飯塚 英一 (昭 46 学電)  
昭 61 年から平成 7 年担当 二川 克美 (昭 63 院情)  
平成 8 年から平成 17 年担当 二川 克美 (昭 63 院情)  
女子会担当 太田 悦子 (昭 60 学電)
- 幹事会事務局の構成と役務  
上月 秀俊 (昭 36 学機) 全般事項 (含む総会関係)  
小林 一 (昭 38 学機) 主に幹事会担当  
駒場 方耀 (昭 38 学機) 事務局担当  
兼子 八郎 (昭 38 学電) 主に会報担当  
飯塚 英一 (昭 46 学電) 主に名簿、ホームページ担当  
森田 徹郎 (昭 42 学電) 主に会計担当
- 同好会  
囲碁部 部長 田中栄太郎 (昭 40 学化)、 副部長 山田 恵規 (昭 42 学電)  
ゴルフ部 部長 青野 潔 (昭 41 学化)、 副部長 佐藤 将彦 (昭 43 学子)  
写真部 部長 三好 成實 (昭 39 学機)、 副部長 山崎慎一郎 (昭 31 学原)  
副部長 石川 久 (昭 44 学子)  
山遊会 会長 小森 廣樹 (昭 42 学機)、 副会長 小宅 仁 (昭 36 学電)  
副会長 青野 潔 (昭 41 学化)  
女子会 会長 太田 悦子 (昭 60 学電)、 副会長 鈴木 葉子 (昭 62 学化)  
社交ダンス部 休部

# 「東京支部会則」

(平成 23 年 8 月 27 日改訂)

## 第 1 章 総則

第 1 条 本会は、多賀工業会東京支部と称し、その支部事務所を支部長宅に置く。

第 2 条 本会は、会員相互の親睦を図り、合わせて母校の隆昌に寄与することを目的とする。

## 第 2 章 事業

第 3 条 本会は、第 2 条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 会報の発行
- (2) 会員名簿の整備・管理
- (3) 会員相互の連絡及び共励共助
- (4) 会員と母校との連絡
- (5) 発展向上のための講演会、研修会
- (6) 同好会活動
- (7) その他目標達成のため必要と認める事項

## 第 3 章 会員

第 4 条 本会の会員は、多賀工業会の会員で東京・神奈川及び近隣に在住・在勤している者、並びに支部長が特別に承認した者とする。

## 第 4 章 役員

第 5 条 本会は次の役員を置く。

支部長 1 名  
副支部長 若干名  
幹事長 1 名  
幹事 若干名  
会計幹事 1 名  
監事 2 名  
その他（同好会幹事、相談役、顧問など）  
若干名

第 6 条 役員は、次の方法によって定める。  
支部長は、幹事会の互選とし総会での承認を得るものとする。

支部長以外は、支部長が推薦し、現幹事会の決議を得るものとする。

第 7 条 役員の職務は、次の通りである。

支部長 本会を代表し、会の運営・会務執行の責めに任ずる。

副支部長 支部長を補佐し、支部長が職務不能な時はその責務を代行する。

幹事長 幹事の業務を統括する。

幹事 会の運営業務を夫々分担して遂行する。  
会計幹事 本会の収支、及び会計を担当する。

監事 会計を監査し総会で報告する。

同好会幹事 同好会毎に部長、副部長等を定め、自主的に運営する。

相談役 支部長の相談に応ずる。

顧問 支部長・幹事会の諮問に応ずる。

第 8 条 役員の任期は 2 年とし、重任を妨げない。

## 第 5 章 会議

第 9 条 支部総会は、原則として毎年 10 月に開催する。但し、必要に応じ臨時支部総会を開くことができる。

第 10 条 支部総会は、次の事項について審議し、出席者

の過半数の賛成で決議する。

- (1) 支部長人事
- (2) 会則の改廃
- (3) 本会の年度決算並びに次年度予算
- (4) 本会の年度事業報告並びに次年度計画
- (5) 幹事会からの提出議案
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事項

第 11 条 幹事会は、幹事をもって構成し原則として年 4 回（2、5、8、11 月の第 4 土曜日）開催する。但し、必要に応じ支部長又は幹事長が臨時に召集し開催できる。

第 12 条 幹事会は、次の事項について審議し、出席者の 3 分の 2 以上の賛成で決議事項とする。

- (1) 支部長の互選及びその他役員決定
- (2) 会則の改廃案
- (3) 本会の年度決算案並びに次年度予算案
- (4) 本会の年度事業報告案並びに次年度計画案
- (5) 総会への提出議案
- (6) 細則規定の改廃
- (7) その他会務運営上必要な事項

## 第 6 章 会計

第 13 条 本会の経費は、会員の年会費、寄付金及び本部補助金をもってあてる。

第 14 条 現金の保管は銀行預金の方法による。

第 15 条 本会の会計年度は、4 月 1 日から翌年の 3 月 31 日までとする。

第 16 条 本会の収支は、会計幹事が担当し、監事が会計監査を行い総会に報告する。

付則 本会則は、平成 16 年 10 月 23 日より施行する。

## 細則規定

第 1 条 年会費は、2,000 円とし、会計年度内に徴収する。複数年度分の先行納入は拒まない。

- (1) 但し、一旦納入の会費は返還しない。
- (2) 会計幹事は年会費の銀行預金口座、郵貯振込口座の管理をおこなう。

第 2 条 会報は次の者に配布する。

- (1) 年会費納入者（但し、5 年連続未納者には以降配布を停止することが出来る。）
- (2) 支部総会参加者
- (3) 東京・神奈川に在住・在勤の直近 3 年間の卒業生
- (4) 配布希望者で支部長が許可した者
- (5) その他多賀工業会本部及び支部等の関係者

第 3 条 総会開催の案内は、会報にて発表するとともに書面で通知する。書面による通知は、第 2 条の対象者以外にも広げて発送する。

第 4 条 慶弔規定は別途定める。

第 5 条 80 歳到達の役員経験者に記念品を贈呈することが出来る。

第 6 条 幹事会に事務局長を置き、幹事会の取りまとめを行う。また、幹事長を補佐する副幹事長をおく。

第 7 条 本細則の改廃は、幹事会にて行う。

本細則は平成 16 年 10 月 23 日より施行する。平成 23 年 8 月 27 日に第 1 条(2) 追加、第 2 条 (1) 修正、第 6 条を追加した。旧第 6 条は第 7 条とした。

# HP 編集室より

HP 編集室長 矢野 睦男 (昭 32 学原)

2004 年 10 月に工学部のサーバーを借りて、ホームページ (HP) を開設して以来、今年 10 月には 9 年になろうとしています。2007 年からは商用のサーバーを借り大学よりは独立して運用してまいりました。東京支部と会員のみなさまの橋渡し役として支部の活動状況や同好会活動の情報を掲載しております。これまでに制作したページは約 270 枚、アクセス数は 12485 件 (6 月 11 日現在) に達しています。この間パソコンの性能は格段に進歩し、また伝送環境は高速化、blog から Twitter、Facebook と専門の言語 (html) を知らなくても容易に WEB 上に投稿出来るようになりました。

若い世代には電話同様に気軽に使用されるようになった E-MAIL もウイルス対策とか容量が大きくなるとかの理由でテキスト形式が推奨され、会報第 9 号ではそのことについて注意を喚起しました。しかし、最近では筆者が受信する E-MAIL のほとんどは html 形式になっています。これはメーラーの初期設定が html 形式になっていることでもあります。字の大きさ・色など変えたり写真など挿入できデザイン

の自由  
度が高いこと、伝送スピードが高速化されたお陰でメールの容量を気にする必要が無くなったことだと思います。一方、最近のデジタルカメラの解像度は大きく、そのまま送信すると写真 1 枚で数 MB になることもあります。さすがに数枚の写真を同時に送ると、送受信のサーバーの許容量を超えて送信に失敗するトラブルも発生しているようです。メールに写真を添付する際はトータルで概略 10MB 未満 (サーバーに依って許容量は違います) になるように写真ファイルの圧縮・縮小など加工が必要になります。Explorer を開き該当写真ファイルの容量を確認しましょう。

Twitter や Facebook は総理大臣を初めとして書き込みが増えています。安易に投稿出来る気安さは有りますが、一つ間違ると反応が速いだけに燃え上がってしまいます (議論が沸騰し終始が付かなくなること)。投稿に当たっては注意が肝要です。

HP に対するご助言・叱責など有りましたら、トップページ <http://tokyo.tagakgk.com/> から発信をお願いします。また、投稿ページも準備しておりますので、旅行記やクラス会の報告などありましたら投稿頂ければ幸いです。編集室で変換しますので一般の文書 (Word など) で結構です。このホームページを開くには「多賀工業会東京支部」で検索可能です。みなさまの投稿をお待ちしています。

## 編集後記

◇「高木重人医師による「iPS 細胞について～現状と臨床応用への展望～」と題する講演ですが、先生が勤務される船員保険健康管理センターは私が毎年通っている人間ドック専門の病院です。先生は昼休み受診者対象に 3 頁右下の参考欄にありますようにアップデートな講話をされております。受診した日に今回の講演会と同じ題目で話をされておりました。素人にも非常にわかりやすい内容でした。支部幹事会で iPS 細胞が講演会題目として取り上げられたこともあり、早速先生にご相談したところ快諾して頂きました。日進月歩の iPS、世界中の研究者が新発見を競っています。先生の講演が楽しみです。(小林渡)

◇去る 6 月千葉県支部の協力により、船橋市「フローラ西船」で平成 25 年度多賀工業会本部理事会と総会を開催。この理事会で臼井敏雄会長より一身上の都合により会長を退任したい旨申し出があり、直ちに会長候補者の検討を行いました。そこで 7 月上旬、日立総合と水戸勝田及び工学部側から選出された理事らで話し合いの結果、水戸勝田支部理事本部副会長の舛井正義 (昭 37 学電) 氏が、会長代行に就くことになりましたのでお知らせします。(三本木)

◇(1) 編集会議で今年の「活躍人訪問」が話題になったとき、NHK の「八重の桜」に人気があり 会津の女性のことでも採り上げてみてはどうかということになった。このときこの案件について纏めを依頼出来る人として、編集子は高校の先輩で会津史学会会員の羽賀重弥 (昭 30 学電) 氏を思い浮かべていた。氏は当方の依頼を快く引き受けて「幕末・明治の会津の女性たち」(13P,14P) を仕上げ、届けて頂いた。読者諸兄にもきつとご満足戴けるでしょう。(2) 支部めぐり関西支部の紹介 (15P) には茶蘭歩乱先生 (会員の 3 冊目の著書) の紹介があり、楽しく読める記事である。似顔絵が何とも素晴らしい。(3) この 10 年もの間、会報編集室には女性が不在であったが、漸く一人の女性・鈴木葉子女史を迎えられることが出来た。また男性陣も二人のニューフェースとして金子芳久氏と柳下幸夫氏が加わってくれたので、来年度からの会報編集に力を発揮していただけるものと期待するところ大である。(4) 熱心に同窓会活動に参画し続けた元副支部長の幸道貞一 (昭 22 専通) 氏 (1P,16P) と現役幹事の田崎耕八 (昭 32 学電) 氏 (10P,18P) が年があけてから他界された。同窓会とは何かについて、自ら範を示してご訓導頂いたお二人に改めて感謝の気持ちを表して、ご冥福をお祈りいたします。(兼子)

### 編集担当委員

山崎 慎一郎 (昭 31 学原)	兼子 八郎 (昭 38 学電)
小林 渡 (昭 38 学電)	石川 久 (昭 44 学子)
藤枝 伸一 (昭 45 学子)	金子 芳久 (昭 48 学機)
松田 秀雄 (昭 49 院子)	柳下 幸夫 (昭 49 学機)
鈴木 葉子 (昭 62 学子)	二川 克美 (昭 63 院情)

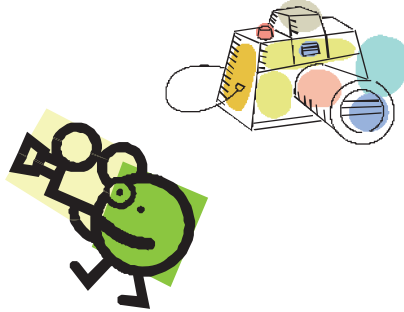
### 多賀工業会東京支部会報 [第 16 号]

発行 平成 25 年 8 月 31 日  
発行者 支部長 上月 秀俊  
〒165-0034 東京都中野区大和町 3-21-12  
TEL 03-3337-1300 FAX 03-3337-2715

堀口 正治 (昭46修子)  
ムーンサルトin 大洗 (ひたちなか市)



平成24年度同窓の集い  
写真展 (出展リスト: 20頁)  
作品の中から



石川 久 (昭44学子)  
気合 (靖国神社)



菊地 玲二 (昭26専通)  
虹の交番 (池袋)



鈴木 日出男 (昭30学原)  
村の子 (ネパール)



山崎 慎一郎 (昭31学原)  
客を待つベルベル人 (モロッコ・カスバ街道)



坪 弘 (昭37学機)  
ミルキーブルーの湖 (ニュージーランド・ブカキ湖)



高萩 隆司 (昭38学電)  
アンデスの少女 (ペルー)



小林 渡 (昭38学電)  
家族・絆 (江ノ島)

ご披露宴・結婚式場  
 大観の絵のあるレストラン  
 ランドーレ  
 不忍池と上野の社を眼下に眺めて  
 ビヤガーデン  
 ご宴会・出張料理  
 伝統に培われた純フランス料理  
 グリル フクシマ

創業明治5年  
 〒110-8715 東京都台東区上野公園 4-58  
 TEL 03-3821-2181 FAX 03-3822-1330  
 http://www.seiyoken.co.jp

正直な人間が  
 まじめに家をつくって三十年

**淳情物語**  
 化学部長 菅原 昭彦 著  
 小沼 淳志

Jun Home  
 ジュンホーム 検索  
<http://www.junhome.co.jp>

社内報、ホームページで連載している  
**「社長のひとりごと」**が  
 1冊の本になりました。

グスツと笑える、読むサプリメント  
**『淳情物語』** (薫風社出版)  
 小沼 淳志 著

**Amazon.co.jp**  
 お近くの書店で好評販売中!!

茨城大学工学部  
 S.41 (学化)  
 後援会長

(株)ジュン・ホーム  
 代表取締役  
 小沼 淳志

私たち大協印刷は、  
 印刷に関わるあらゆるサービスをご提案しております。  
 ぜひ一度ご相談ください。

**大協印刷株式会社**  
 〒110-0016 東京都台東区台東2-4-14  
 TEL: 03-3837-5291 / FAX: 03-3837-5293 E-mail: info@daikyo-print.co.jp  
<http://www.daikyo-print.co.jp>